

パブリックコメントの実施結果について

「豊前市第5次行財政改革推進プラン(案)」に関するご意見と市の考え(回答)について

実施期間 令和8年2月2日(月)から令和8年2月16日(月)

受付人数(ご意見の数) 6名(25件)

	ご意見内容	該当箇所	市の考え(回答)
1 第5次行財政改革推進プラン策定の趣旨			
1	・取り組みの実績中、職員数について令和2年度214人から令和7年度225人と増加しているのに削減ではないのか。ふるさと納税寄附額に対する使途について記載がないのではないのか。	(1)これまでの取組 (2)取組の実績(1P)	「職員数については、これまで施設の民間移譲、学校給食及び清掃業務の民間委託などの取組を進め、平成17年度に260人だった職員数を、現在は225人程度を適正人数と考え、多様な行政課題への対応、市民サービスの維持向上に配慮した配置を行ってきました。」と記述を変更します。 ふるさと納税使途につきましては、市報等にてお知らせいたします。
2	・職員数を35人削減したとあるが、その一方で会計年度任用職員は増加しているのではないのか。またふるさと納税の寄附額を18億円としているが、実際は返礼品や委託料など多額の経費が含まれているのではないのか。実績にはよいところだけを大きくいうのではなく、負の面も正確に示すべきではないのか。	(1)これまでの取組 (2)取組の実績(1P)	職員数につきましては1に記載のとおりです。寄附額につきましては、寄附額をプランの目標設定としていましたので、実績計上しています。本プランにつきましては、寄附額から経費を除いた金額を目標額として設定いたしました。
3	・必要経費の見込みといながら、全く数字が書かれていない。 ・学校施設の整備費用が見込まれとあるが、一部はすでに債務負担行為等で予算確保をしているので金額を出すべきではないのか。 ・歳入に見合った歳出を基本とあるが、地方債を除いたところの歳入、過度に起債に頼らないということをいうべきではないのか。	(2)本市を取り巻く社会経済状況②本市の経済状況と今後の必要経費の見込み(2P)	「学校施設の整備費用について現状約100億円が見込まれ、」と記述を修正いたします。 「過度に起債に頼らず歳入に見合った歳出を基本とする」と記述を修正いたします。
4	・「地域課題の解決や多様化する市民ニーズに的確に対応するため、市民と協働のまちづくりの推進に努めてきました。その一環として自治会制度への移行の推進に取り組みます。」とありますが、「地域課題、多様化する市民ニーズ」には具体的にどのようなものがありますか。「自治会制度への移行の推進」を有効策としている理由はなんでしょうか。	(3)引き続き行財政改革を進める必要性(3P)	地域課題、市民ニーズにつきましては、市内各地域においてそれぞれの多様な課題等がありました。この状況において区長会より自治会制度への移行要望が出され、区長会及び市による検討委員会を立ち上げ、令和10年に移行する答申がなされました。この自治会移行により、一定の課題解決がなされると考えています。
2 第5次行財政改革推進プランの位置付けと目標値			
5	・①財政指標を目標値にしているが、R6決算よりもすべての数値が悪化しているのに、目標といえるのか。この取り組みをしなければもっと悪化することだろうが、書いてないのでわからない。 ・財政指標は決算で出る数値なので、目標としてはなじまないのではないのか。経常収支が高いからと言ってイコール財政状況が悪いわけではない。誰にもわかりにくいと思う。 ・市債残高は学校建設で増加することが分かっているので目標にはならない。 ・基金残高は、特目も入っているんで、大事なものは財調と公共施設の基金確保だと思ふ。 ・②財政効果額は、具体的な取り組みも書かれていないのに、すべての数値が悪化しているのにどうやって図ることができるのか。項目だけでも出すべきではないのか。 ・目標は義務的経費が財政を圧迫しないように人件費の抑制を図るなど人件費比率で示すとか、他の数値を使うべきではないのか。	(2)目標値(3P)	①目標値として、これまでの財政指標を見直し、令和12年度の目標値を、1市債残高100億円、2基金残高45億円、3うち財政調整基金18億円と修正し、「市債残高は、学校再編事業により多額の借入が見込まれますが、借入金額を抑制して令和12年度までに100億円以下にすることを目標とします。」の記述を追加します。 ②項目として、「ふるさと納税、財産収入等」の記述を追加します。
3 行財政改革を進めるにあたっての方向性			
6	・市民協働については、単なる参加促進ではなく、行政と地域の役割分担の再設計として位置付けるべきです。	I 市民協働の推進(4P)	ご意見・ご提案につきましては、今後のプラン推進の参考とさせていただきます。
7	・行政区制度から自治会制度への移行について、それぞれの制度の違いについてメリットデメリットを検証し市民に分かりやすく合意形成を図る必要があるのではないのでしょうか。	I 市民協働の推進(4P)	ご意見・ご提案につきましては、今後のプラン推進の参考とさせていただきます。

4 取組の基本方針			
8	<p>・「市民協働の推進(1)市民主体のまちづくりの促進」について、重点事項で「自治会制度への移行の推進」「地域防災力の強化」の2点があげられていますが、もっと挙げられてもよいのではないでしょうか。</p>	<p>I 市民協働の推進 (1)市民主体のまちづくりの促進 (5P)</p>	<p>第4次プランでは「地域づくり協議会との連携の推進」、「ボランティアセンターとの連携推進」などに取り組み一定の進捗が図れました。これらについては継続して取り組みますが、本計画においては重点的に「自治会制度への移行の推進」「地域防災力の強化」について取り組みます。</p>
9	<p>・持続可能な循環型社会づくりの推進中、「あらゆる行政分野」とは何でしょうか。廃棄物に関しては豊前市では廃棄物処理のコスト削減や活用などの計画は無く、経費はかさばる一方ではないでしょうか。私は、生葉・木くずの堆肥化を提案します。生葉、木くずの処理は排出者の廃棄物負担、処理者の経費増、施設への悪影響があり、堆肥化にメリットがあると考えられます。</p>	<p>I 市民協働の推進 (2)持続可能な循環型社会づくりの推進 (5P)</p>	<p>ご意見・ご提案につきましては、今後のプラン推進の参考とさせていただきます。</p>
10	<p>・循環型社会の実現は、環境政策にとどまらず、財政の持続可能性・地域経済の強化・行政運営の効率化に直結します。取り組み内容を重点化する必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>I 市民協働の推進 (2)持続可能な循環型社会づくりの推進 (5P)</p>	<p>ご意見・ご提案につきましては、今後のプラン推進の参考とさせていただきます。</p>
11	<p>・DXについては方向性が示されていますが、具体的なロードマップとKPIが不足しています。</p>	<p>II 機能的行政の推進 (1)電子行政の推進 (5P)</p>	<p>ご意見・ご提案につきましては、今後のプラン推進の参考とさせていただきます。</p>
12	<p>・機能的行政の推進中「電子行政の推進」について、市民側の対応はできているのでしょうか。</p>	<p>II 機能的行政の推進 (1)電子行政の推進 (5P)</p>	<p>ご意見・ご提案につきましては、今後のプラン推進の参考とさせていただきます。</p>
13	<p>・職員数減少や専門人材の採用難を踏まえた人材配置と外部化・広域連携の方針を整理する必要があります。</p>	<p>II 機能的行政の推進 (2)機能的組織づくりの推進 (5P)</p>	<p>ご意見・ご提案につきましては、今後のプラン推進の参考とさせていただきます。</p>
14	<p>・「機能的・効率的な組織の編成」について財政負担や業務内容を考え部長制度は廃止したほうが良いと思います。</p>	<p>II 機能的行政の推進 (2)機能的組織づくりの推進 (5P)</p>	<p>ご意見・ご提案につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
15	<p>・財源確保の記述はありますが、本プランの中でも非常に重要な部分であるため、中長期の「歳入戦略」を体系的かつKPIを設定して示すことが必要ではないのでしょうか。近隣地域も含め今ある優良企業といかに連携し、同時に国内外を問わず優良企業を誘致して産業振興を図ることが喫緊の優先事項です。</p>	<p>III 健全財政の推進 (2)財源の確保 (6P)</p>	<p>ご意見・ご提案につきましては、今後のプラン推進の参考とさせていただきます。</p>
16	<p>・業務委託、民間活力の導入などを推進とあるが、例えば健康づくりは地域性があり市内一率といかないことが多々あります。このような中豊前市健康推進委員会(仮称)等を立ち上げ、市の健康推進を各地域づくりにて支部を創設し、そこに委託してコンパクトにすることで成果が出るのではないのでしょうか。活動経費は必要となりますが、職員の人件費に比べれば経費削減になると思います。今、地域への交付金や補助金の一本化をお願いしているが、進んでいない。これを進めることで事務量の削減につながり、人件費事務費の削減につながると思います。</p>	<p>III 健全財政の推進 (2)財源の確保 (6P)</p>	<p>ご意見・ご提案につきましては、今後のプラン推進の参考とさせていただきます。</p>
17	<p>・公共施設や社会インフラの統合的アセットマネジメントの強化が必要です。尚、施設削減目標は20パーセントではなく30パーセントではないのでしょうか。</p>	<p>III 健全財政の推進 (3)効率的な財政運営の推進 (6P)</p>	<p>「施設削減目標として延床面積の30%削減」と記述を修正いたします。</p>
18	<p>・輸送費の多い豊前市であろうと、文化施設はなくてはならないものであります。それゆえ、市は何をどうすべきなのか、今後、市民会館の修理を徹底的に行なって当分の間これを維持管理して行くのか、それとも多目的文化交流センターを芸術文化のセンターとして位置づけ、この施設に改良を加えるのか、市としての基本姿勢を明確に打ち出す時期を迎えていると考えます。「市民会館は立て直しの方向で検討します」と言うような従来の市議会答弁にみられるような姿勢では済まされない事態に直面していることを是非ご認識を頂きたいと思えます。</p>	<p>III 健全財政の推進 (3)効率的な財政運営の推進 (6P)</p>	<p>現在、学校再編事業を推進しており、その費用を優先的に確保する必要があることから、建替に要する財源の確保につきましては、大変厳しい状況にあります。また、平成26年度に策定した公共施設等総合管理計画は、一定期間ごとに改訂(令和8年2月改定)を重ねておりますが、その中で、施設削減目標を掲げ、廃止、集約等更新する施設量を減らすことにより将来の更新・維持管理費用を縮減するよう努めるとしており、豊前市市民会館については、「施設の老朽化が著しく、耐震性が低いため施設のあり方について検討する」としています。以上のことから、芸術文化の振興を提供する機能を既存の施設に集約する検討を進めることが、文化の種を蒔き続けられる現実的な方向性であると考えております。ご意見・ご提案につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
19	<p>・医療費や介護費の抑制は、市民の健康寿命を伸ばし、重症化を防ぎ、必要な行政サービスを適切なタイミングで提供するという「投資型の発想」が必要です。</p>	<p>III 健全財政の推進 (4)特別会計・公営企業会計等の経営健全化の推進 (7P)</p>	<p>ご意見・ご提案につきましては、今後のプラン推進の参考とさせていただきます。</p>

全体を通して			
20	・市が直面している多くの課題に対して、新しさもないし、具体的でもない。職員一人一人が、行革に取り組み必要性や重要性を認識し、行動できるような計画にしてほしい。	全体を通して	ご意見・ご提案につきましては、今後の参考とさせていただきます。
21	・人口減少、少子高齢化などにより地域経済の低下、税収の減少を招いている現状を考え、新たな産業構造を構築していく必要がある。豊前の災害が少ない、交通アクセスがよいなどの利点を活用して企業、仕事の誘致を図るべきだと考えます。また公共交通の課題について、グリーンズローモビリティの活用など検討の余地があると考えます。全体的に人口規模を増やし、産業を興して歳入を増やす取り組みに対する有効な戦略が見えないように思われます。	全体を通して	ご意見・ご提案につきましては、今後のプラン推進の参考とさせていただきます。
22	・人口減少と財政構造の関係を示す「将来シナリオ」の明示が必要です。豊前市は今後も人口減少が続き、税収減と社会保障費の増加が避けられず、痛みを伴う改革を行うためには市民に対する十分な説明が欠かせません。第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略に複数の人口推移パターンが示されているように、現状のまま推移した場合と、改革を実行した場合の財政見通しを比較することで、市民や職員が「なぜ改革が必要なのか」をより理解しやすくなると思います。	全体を通して	ご意見・ご提案につきましては、今後のプラン推進の参考とさせていただきます。
23	・福祉分野、とりわけ障害者福祉に対する取り組みが見えてこない印象がある。	全体を通して	第6次豊前市総合計画や豊前市障害者計画等により取り組みを実施しています。
24	・様々な計画策定について民間コンサルタント会社に委託する事例が増えていると聞きますが、豊前市の現状はどうなっているのでしょうか。民間の活用や専門性の重視は理解できますが、施策立案のノウハウ等が自治体に内部に蓄積されていくのが危惧します。	全体を通して	ご意見・ご提案につきましては、今後の参考とさせていただきます。
25	・学校再編により厳しい財政状況になるなか、行革プランは最優先すべきと考えます。そのためにも市民の理解、協力が必要と思われれますのでプランにも記載したほうがよいと思われれます。	全体を通して	ご意見・ご提案につきましては、今後の情報発信などにより市民の皆様への周知を図ります。